

12V/24V車対応

このたびは、スーパーキャットのレーダー探知機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、スピード取締り機の前もってお知らせする受信機です。

GPS測位は、特に初めてのときなど、地理的状況により20分以上かかる場合があります。障害物や遮へい物のない視界の良い場所に移動し、車を停車して行ってください。

⚠ 注意

この説明書をよくお読みのうえ、安全運転のよきパートナーとして正しくお使いください。
なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

RGP-150N

GPSアンテナ一体型レーダー探知機

RGP-150N

取扱説明書

目次

はじめに	安全上のご注意	2
	主な特長	6
	ご使用にあたって	8
	各部の名称と働き	8
	電源について	12
取り付けかた	フロントガラスに取り付ける	14
	ダッシュボードに取り付ける	16
使いかた	レーダー編	
	音量/警報音/受信感度を設定する	18
	便利な機能について	21
	レーダー警報機能について	22
	iDSPについて	23
	350.1受信機能の使いかた	29
	GPS編	
	GPS測位機能について	31
	GPS測位機能の使いかた	32
	マイ・エリア警告の使いかた	35
	ミニマムセンス・モードの使いかた	36
	AACシステムの使いかた	37
	ASS機能について	38
その他	取締りレーダー波を受信しにくい場合	39
	取締りのミニ知識	40
	故障かな?と思ったら	42
	仕様	44
	アフターサービスについて	45
	無料修理規定	47
	保証書	裏表紙

安全上のご注意

つづく

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

- ⚠ この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- ⊘ この記号は、してはいけない「禁止」内容です。
- ❗ この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

-  水をつけたり、水をかけない。また、ぬれた手で操作しない…火災や感電、故障の原因となります。
-  穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。

⚠ 警告

-  電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、電源コードが傷んだら使用しない…感電やショートによる発火の原因となります。
-  シガーライターソケットやシガープラグの汚れはよくふく…接触不良を起こして火災の原因となります。
-  シガーライターソケットは単独で使う…タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。
-  シガープラグは確実に差し込む…接触不良を起こして火災の原因となります。
-  表示された電源電圧以外では使用しない…火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。
-  運転中は絶対に操作しない…わき見運転は重大事故の原因となります。また、設定は停車中に、パーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。
-  穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。
-  機器本体および付属品を改造しない…火災や感電、故障の原因となります。

はじめに

はじめに

⚠ 警告



取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付ける…誤った取り付けは、交通事故の原因となります。



助手席エアバックの近くに取り付けたり、配線をしない…万一のとき動作したエアバックで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、電源コードが妨げとなり、エアバックが正常に動作しないことがあります。



煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐにシガープラグを抜いて、販売店に修理をご依頼ください。



万一、キャビネットを破損した場合は、すぐにシガープラグを抜く…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。



警報したときに慌ててブレーキをかけたりしない…走行中に急ブレーキをかけたりすると大変危険です。



バッテリーに直接接続しない…火災や感電、故障の原因となります。シガープラグコードを使用せずに電源をとる場合は、別売のOP-4をご使用ください。



サービスマン以外の人、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

⚠ 注意



取り付けは確実に…落ちたりして、ケガの原因となります。



車から離れるときは、電源が切れていることを確認する…シガーライターソケットに常時、電源が供給される車種があります。長時間ご使用にならないときはシガープラグを抜いてください。



シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らない…コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずシガープラグを持って抜いてください。



お手入れの際は、シガープラグを抜く…感電の原因となります。

本機を使用中のスピード違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。

主な特長

1 GPS測位機能

GPS(Global Positioning System)とは、衛星軌道上の24個の人工衛星から発信される電波により、緯度・経度を測定するシステムです。カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、従来のレーダー探知機では警報することのできなかった、ループコイル式や光電管式のオービス、そしてLHシステムも、音声で警告します。

① GPSボイス警告

- 『ポーン 右(左)1km(500m)先に高速道(一般道)ループコイル式オービスがあります』とボイスで警告。
- オービス識別ボイス…オービスまでの距離約1kmと約500m手前の2カ所で、ループコイル式・LHシステム・光電管式・Hシステム・レーダー式とオービスの種類を識別して、ボイスで警告。
 - 方向識別ボイス…進行方向に設置されたオービスのみを警報し、反対方向のオービスは警報しません。さらに進行方向に対して、オービスが右手または左手方向に約25°以上のときは、その方向もお知らせします。
 - 高速/一般道識別ボイス…オービスが高速道路上に設置されているか、一般道路上のものかを識別してお知らせします。

② マイ・エリア警告

移動オービスの出没位置など、登録したいエリアを30カ所メモリーでき、近づくとボイスで警告。『ポーン 右(左)1km(500m)先にセットしたエリアがあります』

③ MSC*/ミニマムセンス制御

自動ドアなど、取締り機が設置されていないにもかかわらず、警報が鳴るエリアを30カ所メモリーでき、登録ポイントから半径約200mエリアにおける不要な警報をコントロール。
※Minimum Sensitivity Control の略です。

④ AAC*/不要警報カット

GPS測位機能を利用して走行速度を検出し、停車中または低速走行中の不要な警報をカット。
※Auto Alarm Control の略です。

⑤ ASS*/最適感度選択

GPS測位機能を利用して走行速度を検出し、最適な取締りレーダー波の受信感度を自動的に選択。
※Auto Sensitivity Selectionの略です。

⑥ オービスデータ更新対応

ご要望により、最新のオービスデータに更新可能。(有料:¥5,000 データベースは半年に1回程度更新されます)

2 iDSP*

統合的デジタル信号処理技術(iデジタル)により、超高精度識別を実現。
※Integrated Digital Signal Processing Technologyの略です。

① ボイス識別

- Nシステム検知…「自動車ナンバー自動読み取り装置」(Nシステム)を検知すると、『Nシステムです』と取締り機とは区別して、男性のボイス(男声)でお知らせ。[特許出願中]
- 新Hシステム識別…『Hシステムです』と通常波と区別して、女性のボイス(女声)でお知らせ。
- ステルス識別…『ステルスです』と通常波と区別して、女性のボイス(女声)でお知らせ。

② GPS排除

カーナビのモレ電波を識別し、誤警報を排除。さらに、温度変化などによる周波数ズレを自動補正。
[特許 第3044004号]

3 EXTRA/エクストラ感度

- ハイレベルの受信性能を徹底追求したエクストラ感度。
- Wスーパーヘテロダイン…スウィープオシレーター式超高精度受信方式。[特許 第1720227号]
 - フリップチップinアンテナ…高周波基板へのアンテナ接続による損失を極小に抑えたオリジナルチップ搭載で高感度を実現。[特許 第3229564号]
 - X/Kツインバンド…Xバンド/Kバンドの2バンド対応。
 - 後方受信…後方からの取締りレーダー波も確実にキャッチ。

4 レーダーアラーム機能

- ① オケメロアラーム…「カルメン」を臨場感のあるオーケストラ演奏で警報。
- ② Wアラーム方式…音(メロディ/電子音)&光(アラームランプ/シグナルメーター)のダブルで警報。
- ③ 接近テンポアップシステム…レーダー式取締り機に近づくに従い、電子音がテンポアップ。
- ④ ミュートボタン…レーダー波の受信を確認後はワンタッチで警報音をカット。

5 350.1MHz取締無線受信

- ① 会話受信…取締り現場無線の発信の内容が丸ごと聞ける。
- ② ボイスガイド…『チェックポイント。電波を受信しました。ご注意ください』と女性のボイス(女声)でお知らせ。

6 自動制御機能

- ① オートディマー…ランプ点灯から、約30秒で自動的にライトダウン。
- ② オートクワイアット…アラームの鳴り始めから、約30秒で自動的にボリュームダウン。

ご使用にあたって

使用上のご注意

- 周辺環境によっては、GPSの測位に誤差が生じることがあります。
- 走行環境や測定条件などにより、取締りレーダー波の探知距離が変わることがあります。
- 一部の車種に採用されている金属コーティングの断熱ガラスのなかには、電波の透過率が低いため衛星からの電波を受信しにくく、GPS測位ができない場合や、取締りレーダー波の探知距離が短くなることがあります。

各部の名称と働き

レーダー操作部

DCジャック[DC12/24V] (12V/24V車対応)
付属のシガープラグコードを接続します。(12ページ)

AACボタン[AAC]
AACシステムの設定/解除ができます。AACシステムをONに設定すると、自動的にASS機能が働きます。(37ページ)

受信感度セレクトボタン[SENS]
AACシステムを解除しているときは、走行環境や条件に合わせて受信感度が選べます。(20ページ)

AACランプ[AAC]
電源が入ると点滅します。また、警報の状態をランプの色で表示します。(18、37、38ページ)

感度ランプ[SENS]
受信感度をランプの色で表示します。(20、38ページ)

アラームランプ
取締りレーダー波を受信すると赤く点滅し、GPSの電波をサーチ中またはGPSによる警報中は青く点滅します。(22、32、34ページ)

レーダー波アンテナ(前面)
取締りレーダー波を受信します。

Nシステムセンサー(前面)
Nシステムを検知します。(26ページ)

350.1スイッチ[350.1]
350.1受信機能の設定/解除および動作モードを選べます。(29ページ)

音量ツマミ[VOL]
警報音の音量調節ができます。(18ページ)

テスト&ミュートボタン[T/MUTE]
警報音の確認やミュート機能を使うときに押します。(18、21ページ)

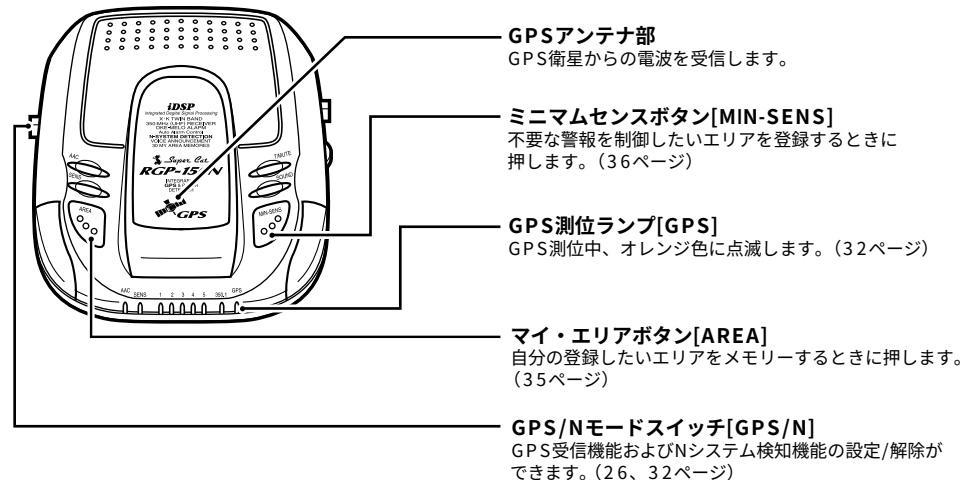
警報音セレクトボタン[SOUND]
警報音が選べます。(19ページ)

350.1ランプ[350.1]
350.1MHzの電波を受信したとき、緑色に点滅します。(30ページ)

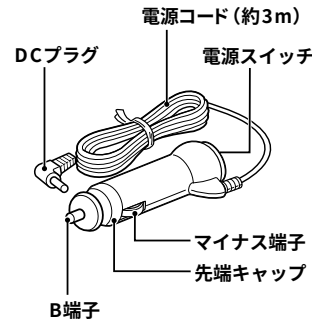
シグナルメーター[1~5]
受信している取締りレーダー波の強さに応じて、点灯数が左から右へ増えていき、右端に達すると、すべてが点滅します。(22ページ)

各部の名称と働き

GPS操作部



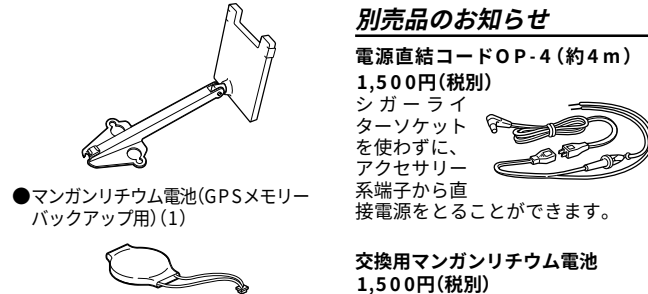
シガープラグコード



付属品

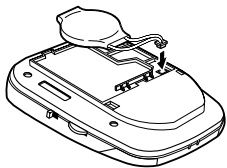
■ご使用前に付属品をお確かめください。

- ダッシュボード用ベース(1)
- シガープラグコード(1)
- 吸着盤(2)
- マジックテープ(1)
- コードクリップセット(1)
- 取扱説明書・保証書(1)
- フロントガラス用ベース/バッテリーカバー兼用ブラケット(1)
※お買い上げ時はセットされています。



電源について

1 付属のマンガンリチウム電池を接続する

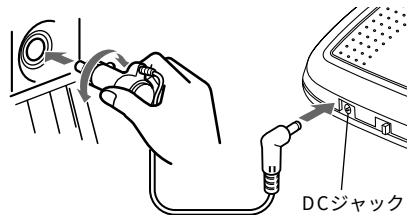


本体底面のソケットにコードのプラグを差し込みます。

- 本電池はGPS測位のメモリーバックアップ用の電池です。接続したままにしてお使いください。

2 付属のシガープラグコードを、DCジャックと車のシガーライターソケットに差し込む

シガープラグは、2～3回左右にひねりながら差し込みます。



⚠ 警告

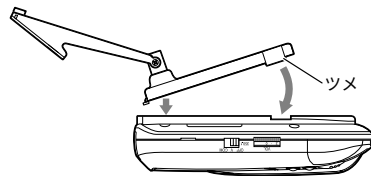
- ぬれた手でシガープラグを抜き差ししないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- シガープラグコードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。また、傷んだシガープラグコードを使用しないでください。感電やショートによる発火の原因となります。
- シガーライターソケットやシガープラグの汚れはよくふいて確実に差し込んでください。ホコリが付いていたり、不完全な接続をすると、接触不良を起こして火災の原因となります。
- シガーライターソケットは単独で使用してください。タコ足や分岐して接続すると異常過熱や発火の原因となります。
- 表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- 万一キャビネットを破損した場合は、すぐにシガープラグを抜いてください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

⚠ 注意

- シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷がついて感電やショートによる発火の原因となります。
 - お手入れの際には、シガープラグを抜いてください。感電の原因となります。
- シガープラグコードは、必ず付属のものをご使用ください。
 - シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。
 - 一部の車種においては、シガープラグの形状が合わないことがあります。その場合は、別売のOP-4を使用してください。(11ページ参照)
 - 本機をバッテリーなどと直接接続すると故障の原因となりますので、絶対におやめください。

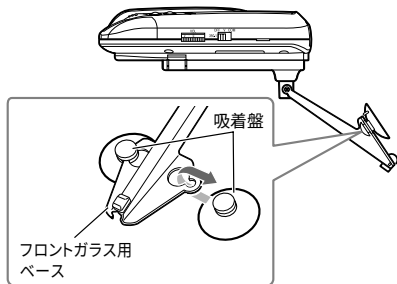
フロントガラスに取り付ける

- 1** ブラケットを本体に取り付ける。
コードを挟まないように注意して閉めます。



ブラケットを取りはずすときは、両側のツメを押しながら、引き上げて外します。

- 2** フロントガラス用ベースに、吸着盤を取り付ける



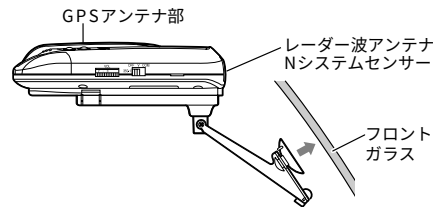
お買い上げ時に、ブラケットとフロントガラス用ベースがセットされています。

GPS衛星からの電波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界のよい場所に取り付けてください。



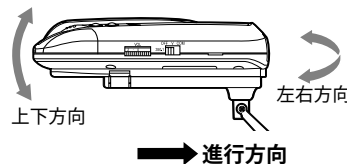
- 3** フロントガラス下部に貼り付ける

吸着盤に水などをつけて、フロントガラスの中央下部のGPSの電波を受信しやすい場所に貼り付けます。



GPSアンテナ部の上やレーダー波アンテナ/Nシステムセンサーの前に他の機器のアンテナや、金属などの障害物がこないように取り付けます。

- 4** 道路に対して、本体を水平にする
レーダー波アンテナが進行方向(前方)を向くように、角度を調整します。



⚠ 警告



運転や視界の妨げにならない場所、また自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

⚠ 注意



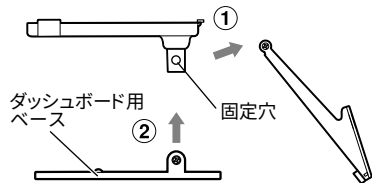
取り付けは確実に行ってください。落ちたりして、ケガの原因となります。

取り付けかた

取り付けかた

ダッシュボードに取り付ける

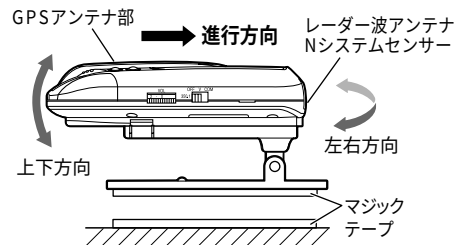
1 ブラケットから①フロントガラス用ベースをはずし、②ダッシュボード用ベースを取り付ける



ネジの大きさに合ったドライバーを使用してください。ネジ山のつぶれの原因となります。

- GPSアンテナ部の上やレーダー波アンテナ/Nシステムセンサーの前に他の機器のアンテナや、金属などの障害物がこないような場所に取り付けてください。
- あらかじめ、貼る場所のチリや汚れ、脂分をよく落としたあと、慎重に行ってください。貼り直しは、テープの接着力を弱めます。
- 使用中、本体が傾くような場合は、ネジの締め付けを行ってください。

2 付属のマジックテープで貼り付け、本体を道路に対して水平に、またレーダー波アンテナが進行方向(前方)を向くように、角度を調整する



- GPSの電波を受信しやすい場所に取り付けてください。

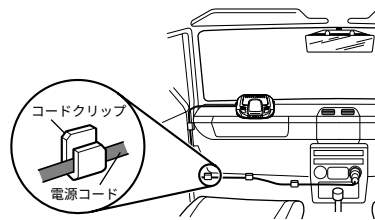
警告



エアバックの上に取り付けしないでください。万一のとき動作したエアバックで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。

コードクリップの使いかた

付属のコードクリップセットで、シガープラグコードがきれいに配線できます。コードクリップを両面テープで貼り付けます。



- 布などは避け、なるべく硬く、なめらかな場所を選び、接着面に触れないように貼り付けます。
- 貼る場所のチリや汚れをよく落としたあと、慎重に行ってください。

警告



助手席エアバックの妨げとなる場所に配線しないでください。シガープラグコードが妨げとなり、エアバックが正常に動作しなかったり、動作したエアバックで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。



運転や視界の妨げにならない場所、また自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に取り付け・配線を行ってください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

注意



取り付けは確実に行ってください。落ちたりして、ケガの原因となります。



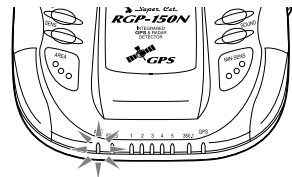
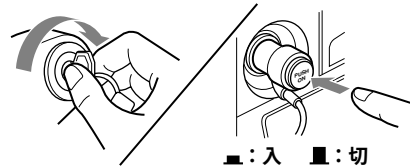
音量/警報音/受信感度を設定する

設定は、必ず停車中にパーキングブレーキを確実にかけて行ってください。

つづく

1 電源を入れる

車のエンジンを始動し、シガープラグの電源スイッチを押します。

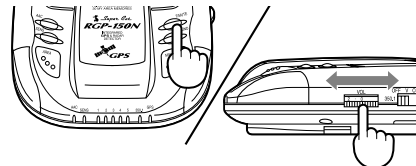


ターン・オン・ビープ(㇏)ピロップロツ…)が鳴り、AACランプが点滅します。

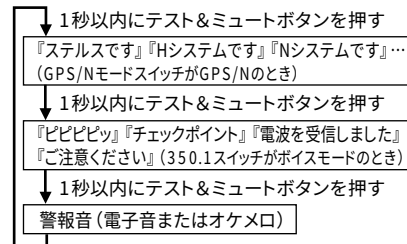
・350.1受信機能を設定しているときは、『ピロップロツ』のあとに『ピピピピッ』と鳴ります。(29ページ参照)

2 音量を調節する

テスト&ミュートボタンを押しながら、音量ツマミを回します。



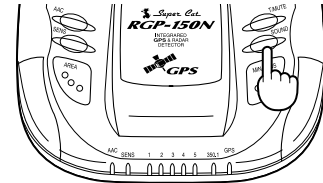
押している間はテストモードとなり、警報音(電子音またはオケメロ)が鳴り続けます。



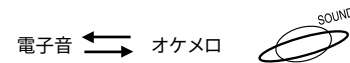
テスト&ミュートボタンを押す前から警報機能が働く場合は、近くで発信されている取締りレーダー波と同じ電波を受信しているためです。この状態でボタンを押すと、ミュート機能が働き、警報音が止まります。(21ページ参照)

3 警報音を選ぶ

警報音セレクトボタンで切り換えます。



押すたびに切り換わります。

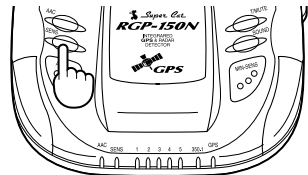


選択した警報音は、テスト&ミュートボタンを押すと確認できます。
オケメロアラームに設定すると「カルメン」のオーケストラ演奏で警報します。(オケメロ)

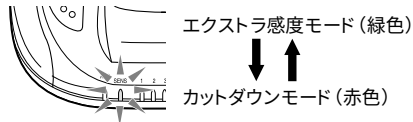
音量/警報音/受信感度を設定する

4 受信感度を選ぶ

受信感度セレクトボタンで切り換えます。AACシステムがON (AACランプが赤色または緑色の点滅) の状態では、『ビビッ』と鳴り、感度は切り換わりません。AACボタンを押して、OFF (AACランプがオレンジ色の点滅) の状態にしてください。(37ページ参照)



感度ランプの点滅色は、ボタンを押すたびに切り換わります。



受信感度について

受信感度が高いほど、遠くの電波を受信できますが、取締りレーダー波と同じほかの電波も受信してしまいます。走行環境や条件に合わせて、受信感度をお選びください。また、受信感度が高いほど、新Hシステムなどの受信には有効となります。

■受信感度の切り換え(マニュアル)

	受信感度	走行環境や条件
高い ↑	エクストラ感度モード	郊外や高速道路
低い ↓	カットダウンモード	市街地

AACシステムに設定すると、選択した受信感度モードにかかわらずASS機能が働き、走行時間の経過により受信感度がカットダウンモードからスーパー感度、エクストラ感度へと自動的に変化します。(38ページ参照)

AACシステムに設定した状態で受信感度セレクトボタンを押しても、『ビビッ』と鳴り、感度は切り換わりません。



便利な機能について

オートクワイアット/ディマーマ機能

警報音が約30秒以上続くと、自動的に音量が小さくなり、アラームランプやシグナルメーターなどのランプ類も暗くなります。

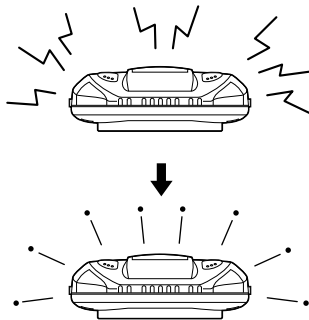
後方受信

iDSPによる超高精度識別およびエクストラ感度の高感度受信により、後方からの取締りレーダー波もしっかり受信します。

ミュート機能

●取締りレーダー波の発信源の確認ができた

警報中にテスト&ミュートボタンを押すと、受信中の電波がなくなるまで、警報音を一時的に消すことができます。



ターン・オン・ビープ

電源スイッチを入れたとき、確認音が鳴り、電源が入ったことをお知らせします。



- ・350.1受信機能を設定しているときは、『ピロッピロッ』のあとに『ピピピッ』と鳴ります。(29ページ参照)



レーダー警報機能について

本機は、Wアラーム方式と接近テンポアップシステムの採用により、取締りレーダー波の存在をより確実に伝えていきます。

Wアラーム方式

音(メロディ/電子音)と光(アラームランプ/シグナルメーター)のダブルで警報します。

接近テンポアップシステム

各警報は、取締りレーダー波発信源への接近(電波の強弱)に合わせて変化します。

取締りレーダー波 発信源との距離	
電子音アラーム	断続音から連続音に変化します。
アラームランプ	点滅速度が変化します。
シグナルメーター	左から右へ点灯数が増し、 右端へ達したあとに、すべてが点滅します。

- メロディアラームはテンポアップしません。
- 警報が続くと、警報音が小さくなり、ランプ類も暗くなります。(オートクワイアット/ディマー機能)



iDSPについて

つづく

本機はiDSP/統合的デジタル信号処理技術(integrated Digital Signal Processing Technology)により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」や、新Hシステムの「種類の異なる電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別して『ステルスです』または『Hシステムです』と女性のボイス(女声)でお知らせします。[ステルス識別]/[新Hシステム識別]

さらに「自動車ナンバー自動読み取り装置」(Nシステム)を、取締り機とは区別して検知することに業界で初めて成功し、なおかつ、聞き間違いのないように『Nシステムです』と男性のボイス(男声)でお知らせします。[Nシステム検知：特許出願中]

またカーナビからのGPSのモレ電波など妨害電波は、的確に識別し、誤警報を排除しています。さらに、温度変化などによる周波数ズレを自動補正しています。[GPS排除：特許 第3044004号]

※ iDSPを解除することはできません。

※ iDSPはステルス型の取締り機に対して完全対応というわけではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

ボイス識別

ステルス型取締り機について

他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知(受信)されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。

このため、従来機ではステルス波の識別警報はできませんでした。

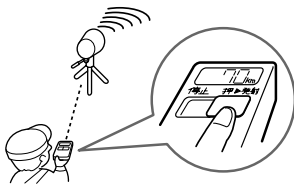
- ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ボイス(音声)でお知らせすることがあります。
- オケメロアラームを選んでいるときでも、ステルス型取締り機や新Hシステムの電波を受信するとボイス(音声)でお知らせします。

＜ステルス波を受信したとき＞

- 専用の女性のボイス(女声)でお知らせします。

受信	ピロピロ… (約2秒間) 『ステルスです ステルスです』
----	------------------------------------

5秒以上受信が続くと、警報音セレクトボタンで選んでいる通常の警報音に変わって警報します。



新Hシステムについて

電波を用いる自動速度取締り機(オービス)の一種ですが、他のオービスとは種類の異なる電波(周波数は同一)を使用しているため、従来機では探知(受信)しにくくなります。

ただし、このシステムでは証拠の記録をする前に、電光掲示板で「速度オーバー」や「速度超過」などの警告がありますので、これらの警告を見かけたら注意してください。



＜新Hシステム波を受信したとき＞

- はじめは選んでいる通常の警報音(オケメロ、電子音)が鳴りますが、識別すると女性のボイス(女声)でお知らせします。

受信	通常の警報音 (オケメロ、電子音)
識別	ピロピロ 『Hシステムです』 ピロピロ 『Hシステムです』…… (受信している間、繰り返し 警報します。)

ボイス識別

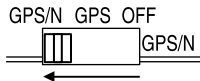
Nシステム検知について

「自動車ナンバー自動読み取り装置」通称『Nシステム』は新Hシステムなどに似ていますが、レーダー波を使用した取締り機ではないため、従来機では通過しても何も反応しませんでした。

そのため、「新型の取締り機ではないか？」といった疑問や不安を持ちながら運転していた人も多かったようです。

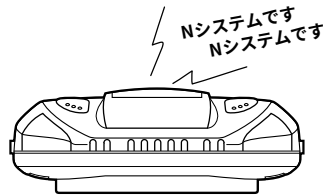
本機は、このNシステムが発している特殊な信号を、識別および検知し、さらに、スピード違反の取締りとは区別して、『Nシステムです』と男性のボイス(男声)でお知らせします。**[Nシステム検知：特許出願中]**

- お買い上げ時には、GPS/NモードスイッチはOFFになっています。Nシステム検知する場合は、GPS/Nの位置に切り換えてください。



<Nシステムを検知すると>

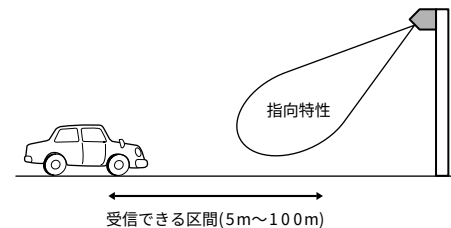
- 『Nシステムです。Nシステムです。』と男性のボイス(男声)でお知らせします。



- ボイス識別後、1分以内にもう1度Nシステムを検知しても、ボイス(男声)でのお知らせはしません。
- ボイス識別中に、取締りレーダー波を受信すると、取締りの警報音が優先されます。

- Nシステムは取締り機ではなく、その名のとおり「自動車ナンバー自動読み取り装置」であり、その信号の指向角が鋭いため、信号を受信できる区間が5m～100mと短くなります。

そのため、走行中にNシステムを検知しても、ボイス(男声)のお知らせが、直前または通り過ぎてからのように感じる場合もあります。



- Nシステムは常時稼働しているとは限りません。稼働していない状態では信号を受信できませんので、Nシステムの検知はできません。

- Nシステムが発しているものと同種の信号を使用している次の機器については、誤検知する場合があります。

- オービスのカメラ
- 高速道路入り口のナンバー読み取り装置
- 駐車場入り口のナンバー読み取り装置
- Tシステム(旅行時間予告システム)

- 次のようなとき、ごくまれに誤検知する場合があります。

- 液晶カメラやカーナビの画面に、本機を直接向けたとき
- 朝日または夕日(地平線または水平線に近い状態)に向かって走行しているとき
- バイクなどのイグニッションノイズ

GPS排除について

カーナビゲーションの中には、取締りレーダー波と同一周波数帯の電波を漏洩しているものがあります。従来機では、これが原因で警報が鳴りっぱなしになることがありましたが、この電波を安易に排除すると、肝心の取締りレーダー波に反応しないという、相反する問題がありました。

本機では、取締りレーダー波にはしっかり反応するよう、取締りレーダー波や自動ドアの電波とのわずかな違いを的確に識別することにより、GPSの漏洩電波のみを自動排除し、誤警報を防止しています。**(自動識別&排除設定機能)**

さらに、自動設定後も、一定の間隔で排除設定の内容および温度変化などによる周波数変動の状態を常にチェックし、変化があれば自動的に補正し、誤警報を排除しています。

(自動補正機能) 【特許 第3044004号】

カーナビゲーションからの影響を排除している場合、受信している電波の識別判定がしにくく、新Hシステムやステルス波に対しても通常の警報音となる場合があります。

自動ドアなど、常に電波の出ている場所でエンジンを始動すると、GPSを排除できない場合があります。このようなときは電波の出ていない場所へ移動して、再度、本機の電源スイッチを入れ直してください。



350.1受信機能の使いかた

つづく

スピード違反の取締りや、シートベルト着用義務違反の取締り現場では、350.1MHzの電波を用いた無線で連絡が行われることがあります。

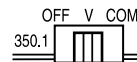
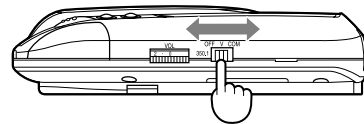
350.1受信機能は、このような取締りに威力を発揮します。設定すると、この連絡用の電波を受信したとき、350.1ランプが点滅し、その交信内容を聞くことや、ボイス警告することができます。(取締り現場での連絡方法には、350.1MHzの電波を用いた無線の他に、有線方式もあります)

連絡のための無線交信は数秒で終わることが多いため、コミュニケーションモード(会話)で受信しても交信内容を聞き取ることは難しくなります。通常はボイス(音声)モードに設定されることをお勧めします。

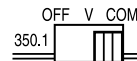
※カーオーディオやカーナビゲーションなどの影響により、ボイス警告したり、受信状態になることがあります。あらかじめご了承ください。

1 設定する

350.1スイッチで動作モードを選びます。



ボイス(音声)モード
ボイス(音声)でお知らせします。



コミュニケーション(会話)モード
交信内容が聞けます。

350.1受信機能の使いかた

350.1MHzの電波を受信すると

<ボイス(音声)モードのとき>

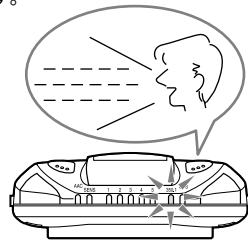
- 350.1ランプが緑色に点滅し、ボイス(音声)でお知らせします。



- 350.1MHzの電波を一瞬でも受信すると、アラームが1フレーズ鳴ります。また、警報中に再度電波を受信すると、もう1度、1フレーズの警報をします。
- アラームはミュート機能で消すことができます。受信が続いたときは、2フレーズの警報後、自動的にミュート機能が働きます。
- アラームが鳴ったあと、1分以内にもう1度350.1MHzの電波を受信してもアラームは鳴りません。
- アラームが鳴っているときに取締りレーダー波を受信すると、取締りレーダー波の警報音が優先されます。

<コミュニケーション(会話)モードのとき>

- 350.1ランプが緑色に点滅し、交信内容を聞くことができます。



- 350.1MHzの電波を受信しているときに取締りレーダー波を受信すると、両方の音が重なって聞こえます。
- 交信は数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることは難しくなります。



GPS測位機能について

GPS (Global Positioning System)とは、衛星軌道上の24個の人工衛星から発信される電波により、緯度・経度を測定するシステムです。

カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、従来のレーダー探知機では警報できなかった、ループコイル式や光電管式のオービス、そしてLHシステムも、約1km手前からオービスの種類を識別して、音声で警告します。[GPSボイス警告]

また、あらかじめメモリーされているオービスポイントに近づいたときに警告するだけでなく、移動オービスがよく出没する位置や、新たに設置されたオービスポイントなど、最大30カ所登録でき、そこに近づくと音声で警告します。[マイ・エリア警告]

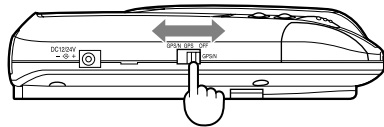
さらに、自動ドアなど、取締り機が設置されていないにもかかわらず、警報が鳴るエリアを最大30カ所登録でき、そのエリアでの不要な警報を制御します。[MSC/ミニマムセンス制御]

そして、GPS測位機能を利用して走行速度を検出することにより、停車中または低速走行中の不要な警報をカットしたり[AAC/不要警報カット]、取締りレーダー波の最適な受信感度を自動的に選択します。[ASS/最適感度選択]

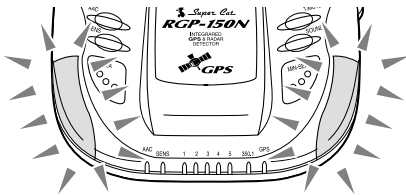


1 GPSモードを選ぶ

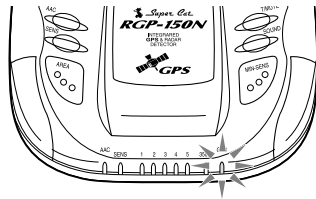
GPS/Nモードスイッチで切り換えます。



GPSまたはGPS/Nに切り換えると、GPSの電波をサーチしはじめ、アラームランプが青色に点滅します。



サーチが終わり、GPS測位機能が働くと、アラームランプは消灯し、GPS測位ランプがオレンジ色に点滅します。初めての測位のときは、『ポーン 測位しました』とお知らせします。



サーチ後、5分経過しても測位できないときは、『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせします。

- 通常、サーチが終わるまで、約10秒から約3分かかりますが、はじめてのサーチや、ビルの谷間など、視界の悪い場所では、GPSの電波を受信しにくく、サーチに20分以上時間がかかる場合があります。障害物や遮へい物のない視界の良い場所へ移動し、車を停車して行ってください。
- サーチが終わった後でも、GPSの電波の受信状態が悪くなると、GPS測位ランプは消灯し、アラームランプが点滅します。
- 電波を受信できない状態が20秒以上続くと、『ポーン GPSを受信できません』とお知らせし、その後、再び測位すると『ポーン GPSを受信しました』とお知らせします。

内蔵メモリーに登録されているオービスポイントに近づくと…

オービスの種類により、音声で識別して警告します。[GPSボイス警告/オービス識別ボイス]

ループコイル式	『ポーン 右(左)1km(500m)先に高速道(一般道)ループコイル式オービスがあります』
光電管式	『ポーン 右(左)1km(500m)先に高速道(一般道)オービスがあります』
LHシステム	『ポーン 右(左)1km(500m)先に高速道(一般道)LHシステム式オービスがあります』
新Hシステム	『ポーン 右(左)1km(500m)先に高速道(一般道)Hシステム式オービスがあります』
レーダー式	『ポーン 右(左)1km(500m)先に高速道(一般道)レーダー式オービスがあります』

警告ポイントが約1km以内のときは「1km先に」→「この先に」とお知らせし、約500m以内のときは「500m先に」→「すぐ先に」とお知らせします。

内蔵メモリーに登録されているオービスポイントに近づくと…(つづき)

GPSボイス警告は、進行方向の道路上に設置されたオービスのみで、反対方向のオービスに対しては警告されません。

さらに、進行方向に対して、オービスが右手または左手方向に約25°以上の方角のときは、その方向もお知らせします。[方向識別ボイス]

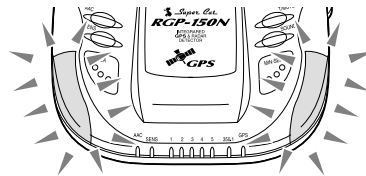
・進行方向に対して、左右約25°以内のときは、「左」「右」の識別はしません。

また、高速道路上に設置されているオービスか一般道路上のものを識別してお知らせします。[高速/一般道識別ボイス]

アラームランプが青色に点滅します。

- ① 約1km手前で、GPSボイス警告し、青色の点滅を始めます。
- ② 約500m手前で、もう一度GPSボイス警告し、青色の点滅が速くなります。[GPS 2段階警報]

オービスポイントを通過すると、アラームランプは消灯します。

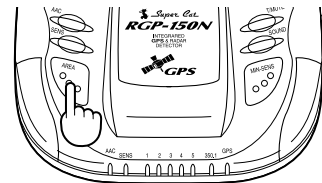


- ・本機はGPS警告よりも、取締りレーダー波受信による警報を優先しますので、GPSボイス警告がされなかったり、中断される場合があります。
- ・トンネルや高架の下などで、GPSの電波を受信できないところでは、測位できませんので、GPSボイス警告がされない場合があります。



1 マイ・エリア登録をする

移動オービスがよく出没する位置や、新たに設置されたオービスポイントなど、自分で登録したい地点でマイ・エリアボタンを押します。



2 マイ・エリア登録を確認する

『ポーン このエリアをセットしました』とボイスでお知らせします。

すでにマイ・エリア登録されていたエリアのとき…

『ポーン このエリアはセットされています』とボイスでお知らせします。

いったん登録したエリアを消去するとき…

マイ・エリア登録されているエリアで、マイ・エリアボタンを約4秒間押したままにすると、『ポーン このエリアはセットされています』に続けて、『ポーン このエリアを解除しました』とボイスでお知らせし、消去されます。

200m以内にミニマムセンス登録したエリアがあるとき…

『ポーン このエリアはミニマムセンスにセットされています』とボイスでお知らせします。

1.3km以内にミニマムセンス登録したエリアがあるとき…

『ポーン セットしたエリアがあります』とボイスでお知らせします。

GPS電波を受信できず、登録できなかったとき…

『ポーン GPSを受信できません。サーチ中です』とボイスでお知らせします。

登録が30カ所を超えたとき…

マイ・エリア警告の頻度の最も少ないエリアが消去され、新しいエリアが登録されます。

自分で登録したオービスポイントに近づくと…

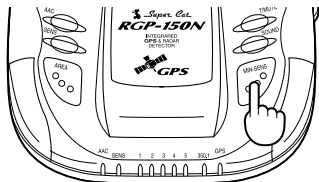
『ポーン 右(左)1km(500m)先にセットしたエリアがあります』とボイスで警告します。[マイ・エリア警告]



ミニマムセンス・モードの使いかた

1 ミニマムセンス登録をする

自動ドアなど、取締り機が設置されていないにもかかわらず警報がよく鳴るエリアで、警報を抑えたい地点でミニマムセンスボタンを押します。



2 ミニマムセンス登録を確認する

『ポーン このエリアをミニマムセンスにセットしました』とボイスでお知らせします。

すでにミニマムセンス登録されていたエリアのとき…

『ポーン このエリアはミニマムセンスにセットされています』とボイスでお知らせします。

ミニマムセンス登録を解除(消去)するとき…
ミニマムセンス登録されているエリアで、ミニマムセンスボタンを約4秒間押したままにすると、『ポーン このエリアはミニマムセンスにセットされています』に続いて、『ポーン このエリアを解除しました』とボイスでお知らせし、消去します。

1. 3km以内に内蔵メモリーに登録されたオービスポイントがあるとき…

『ポーン セットされています』とボイスでお知らせします。

1. 3km以内にマイ・エリア登録されたエリアがあるとき…

『ポーン このエリアはセットされています』とボイスでお知らせします。

GPS電波を受信できず、ミニマムセンス登録できなかったとき…

『ポーン GPSを受信できません。サーチ中です』とボイスでお知らせします。

ミニマムセンス登録が30カ所を超えたとき…

ミニマムセンス登録されているエリアへの侵入頻度の最も少ないエリアが消去され、新しいエリアが登録されます。

ミニマムセンス登録したエリアに侵入すると…

ミニマムセンス登録したポイントから半径約200mのエリアに侵入すると、レーダー波の受信感度をミニマム(最小)にし、不要な警報を抑えます。



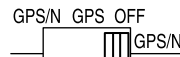
AACシステムの使いかた

AACシステムは、GPS測位機能を利用して走行速度を検出し、停車中または低速走行中は警報をカットします。AACシステムがOFF(解除)の状態では、電波を受信すると常に警報が鳴ります。

1 GPS測位を確認する

GPS測位ランプのオレンジ色の点滅を確認します。(32ページ参照)

GPS/NモードスイッチがOFFまたはGPS測位していない状態では、AACシステムは正常に動作しませんのでご注意ください。



2 AACボタンを押してONにする

AACランプが赤色または緑色の点滅の時は、ON(設定)の状態です。
AACランプがオレンジ色の点滅のときは、OFF(解除)の状態ですので、AACボタンを押してONにします。



AACボタンを押すたびに、AACシステムのON/OFFが切り換わります。



3 動作を確認する

走行しはじめて走行速度が時速25kmを超えると、数秒後にAACランプが緑色の点滅になり、走行速度が時速25km未満になると、数秒後に赤色の点滅になります。

走行速度	AACランプ	警報
時速25km未満	赤色	禁止(レーダー波を受信しても警報カット)
時速25km以上	緑色	許可(レーダー波を受信すると警報)

AACランプが緑色の点滅になると、自動的にASS機能が連動します。(38ページ参照)



ASS機能について

AACランプの点滅色と警報動作

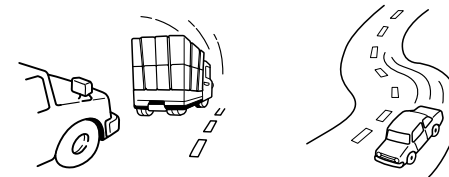
AACシステムに設定すると、ASS機能が働いて低速走行/停車中の不要な警報を抑え、走行速度および走行時間の経過に応じて受信感度が変化します。また、スーパー感度からエクストラ感度へ自動的に変化するとき、『ピッポッ』という確認音が鳴ります。

設定時	AACシステム		解除時	
	車の状態	車の状態	車の状態	車の状態
	停車	走行中	走行中	停車
	時速25km	時速25km	時速25km	時速25km
AACシステム	AACランプ	赤色点滅	緑色点滅	赤色点滅
	感度ランプ	赤色点滅	約20秒 約120秒 それ以降	赤色点滅
	警報状態	警報しない	警報する	警報しない
	受信感度	カットダウンモード	スーパー感度モード エクストラ感度モード	
解除時	AACシステム	オレンジ色点滅		
	感度ランプ	マニュアルモードで設定した受信感度のランプ色点滅。 カットダウンモード(赤色)/エクストラ感度(緑色)		
	警報状態	警報する		
	受信感度	マニュアルモードで設定した受信感度		

取締りレーダー波を受信しにくい場合

電波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、電波を受信しにくいことがあります。

- 前に走行している車(とくに大型車)がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。
- 対象の車が近くに来るまで、電波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。



〔前に走行中の車がある場合〕

〔コーナー〕



〔下り坂〕

電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車輛通過計測機などは、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、反応するのは避けられません。『いつも鳴るから』と安心せずに注意してください。

その他

取締りのミニ知識

本機と、取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。

スピード違反の取締り方法

大きく分けて3つの方法があります。

1. 追走して測定する方法

(追尾方式)

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。

本機は取締りレーダー波を発射しているものについては後方受信しますが、この追尾方式は電波を出しておりませんので、受信および警報することはできません。

2. 距離と時間で算出する方法

(光電管式、ループコイル式)

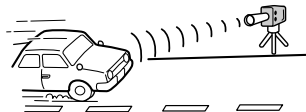
一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や埋め込みの磁気スイッチなどが使われています。

この方式は取締りレーダー波を発射しておりませんので、従来のレーダー受信機能では、検知できませんが、GPS測位機能により、警報することができます。

3. 電波を使って算出する方法

(レーダー方式)

電波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。



現在、スピード違反の取締りには、この方法が多く採用されています。この方法は、歴史も古く、種類、台数が多いことから、今後も取締りの主流となると思われます。

取締りレーダー波について

取締りレーダー波は、発射するときの角度や装置の種類によって性質が異なります。

定置式

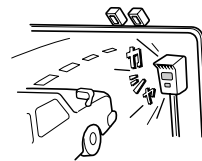
人が測定装置を道路際に設置して行います。

取締りレーダー波は、直進性が強いので、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。



自動速度取締り機(オービスⅢ)

速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。



移動式

測定装置をパトカーに搭載して、移動しながら測定を行います。

Kバンドについて

Kバンドは、米国ですでに使用されている取締りレーダー波の周波数で、日本国内でも使用される可能性があります。本機は、現在国内で使用されているXバンドに加え、Kバンドも受信できるX・Kツインバンド対応です。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部にご相談ください。

症状	チェック項目
電源が入らない	・電源スイッチがONになっていますか。 ・シガープラグコードが外れていませんか。 ・シガーライターソケットの内部が汚れて、接触不良を起こしていませんか。シガープラグを2、3回左右にひねりながら差し込み直してください。 ・シガープラグ内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量（1A）の新しいヒューズと交換してください。
エンジンを止めて、イグニッションキーを抜いても電源が切れない	・シガーライターソケットの電源が、エンジンの始動/停止と連動して入/切しない車があります。このような車では、エンジンを止めても、シガーライターソケットに電源が供給されますので、本体の電源スイッチで電源を切ってください。
反応しない レーダー警報しない	・電源が入っていましたか。AACランプの点滅を確認してください。 ・警報機能が正しく働きますか。テスト&ミュートボタンを押して確認してください。 ・取締りレーダー波が発射されていましたか。計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型など、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。（とくにオービスⅢではよくあります） ・取締りが「レーダー方式」で行われていましたか。
GPS警告しない	・GPS測位していましたか。 ・新たに設置されたオービスではありませんか。

症状	チェック項目
取締りもしていないのにレーダー警報する	・取締りレーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能が働くことがあります。故障ではありませんので、ご了承ください。 ――取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器―― ・電波式の自動ドア、防犯センサー ・信号機の近くに設置されている車輛通過計測機 ・NTTのマイクロウェーブ通信回路の一部 ・気象用レーダー、航空レーダーの一部 ・他のレーダー探知機の一部 ・まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。
警報の途中で警報音が小さくなりランプ類も暗くなる	・警報が約30秒以上続くと、警報音が小さくなり、ランプ類も暗くなります。
カーナビゲーションの影響を排除できない	・自動ドアなどの常に電波の出ている場所でエンジンを始動した場合、GPSを排除できないことがあります。このようなときは、電波の出ていない場所へ移動して、もう1度本機の電源スイッチを入れ直してください。
Nシステムを検知できない	・GPS/Nモードスイッチは「GPS/N」の位置に切り換えていましたか。 ・Nシステムセンサーがサンバイザーやフロントガラスのスモークなどで、感知しにくくなっていませんか。取り付け場所を変更してみてください。 ・Nシステムは稼動していましたか。稼動していない場合は、検知できません。 ・一部の車種に採用されているUVカットガラスにより、検知しにくい場合があります。

電源電圧	： DC 12V/24V (シガープラグ入力電圧)	動作温度範囲	： -10℃～+85℃ (GPS受信部:-10℃～+80℃) (350.1MHz受信部:-10℃～+60℃)
消費電流	： 待機時:25mA以下 (GPS/350.1 OFF時) 最大:200mA以下 (GPS/350.1 OFF時)	本体外形寸法	： 78(W)×24(H)×110(D)mm (突起部を除く)
受信方式	： [GPS部] 12チャンネル/パラレル受信方式 [レーダー部] スweepオシレーター式ダブル スーパーヘテロダイン方式	本体重量	： 140g
受信周波数	： [GPS部] 1.6GHz帯 [レーダー部] Xバンド、Kバンド	本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。	

1. 保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

2. 保証期間

お買い上げの日から1年間です。

3. 対象部分

機器本体(消耗部品を除く)

4. 修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、使用車名(車種)、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。

● 保証期間中のとき

保証書裏面の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体とシガープラグコードをご持参ください。保証書の内容にしたがって修理いたします。

● 保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理いたします。

5. アフターサービス等についてご不明の点は

お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

6. オービスデータの更新

本機にあらかじめ登録されているオービスポイントのデータは、2001年10月現在のものです。新設のオービス等を盛り込んだ最新データへの更新をご要望される場合、有料にて、データ更新させていただきます。お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

アフターサービスについて

●ユピテルご相談窓口一覧

ご相談の受付時間は、月曜日～金曜日 9：00～17：30 です。ただし土曜日、日曜日、祝祭日、振替休日および年末・年始等は受け付けていたしておりません。お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

お客様ご相談センター **TEL. (0564)45-5599**

地 区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部 TEL. (011) 618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北八条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部 TEL. (022) 284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町 4-8-6 第2 喜和ビル 1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・長野・新潟・静岡(西部の一部地区を除く)	東京営業所・サービス部 TEL. (03) 3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦 4-12-33 芝浦新本ビル 3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・福井・静岡(西部の一部地区)	名古屋営業所・サービス部 TEL. (052) 461-1281 〒453-0053 愛知県名古屋市中村区中村町 6-5
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部 TEL. (06) 6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町 53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部 TEL. (082) 230-1711 〒733-0001 広島県広島市西区大芝 2-9-2
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部 TEL. (092) 552-5351 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原 3-2-19

- 上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

＜無料修理規定＞

1. 表面記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体および本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
 - (リ) お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金

5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

故障内容記入欄

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。